DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

転載
禁止
Reprint is prohibited.
無断転載・複製・複写・
Web上へのアップロード禁止

お茶の子サイダー

いい子にはいいママ魔々がいる

この本はR-18です。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。

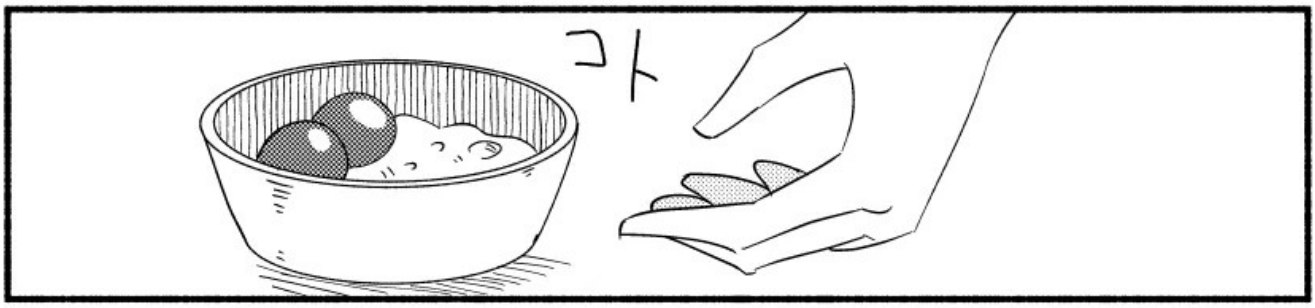
無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載
（SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む）は禁止です。
※同人誌を無断転載する悪質なWebサイトが増えています。
この本をWebサイトなどに無断転載した場合
「1ページにつき10,000円」加えて
「1ページビューにつき500円」の支払い義務が生じますので、
見つけ次第請求させて頂きます。※

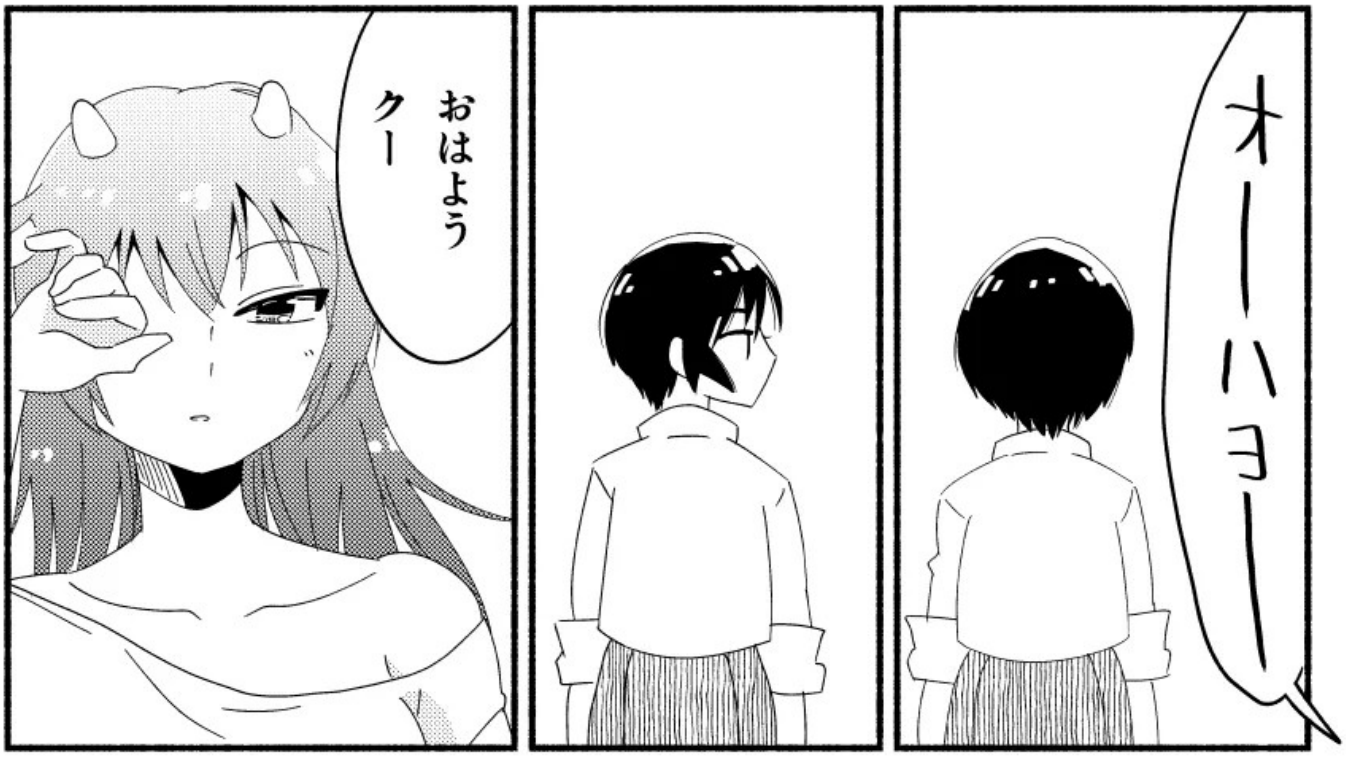
購入ありがとうございます!!

サークル…お茶の子サイダー
著者名…お茶の子サイダー
発行日…2019/05/08
maill…ochanoco_da@yahoo.co.jp
twitter…@ochanoco_da

きらきらと光る
暖かい場所

僕はそこに行きたい


コト


オーハヨー
おはようクー

彼女は『クー』
子をさらうことから
恐れられていた『魔々』と
呼ばれる種族だ

そんな話も今は昔
彼女たちの出す乳の栄養価の高さが
注目され
子供に限らず大勢の者が
その乳を求めて彼女たちの元を
訪れるようになった

僕もそのうちのひとり
赤ん坊のころ森に
捨てられていたのを
クーに拾われた

だから本当の誕生日は
知らない
僕の本当の誕生日を知るのは

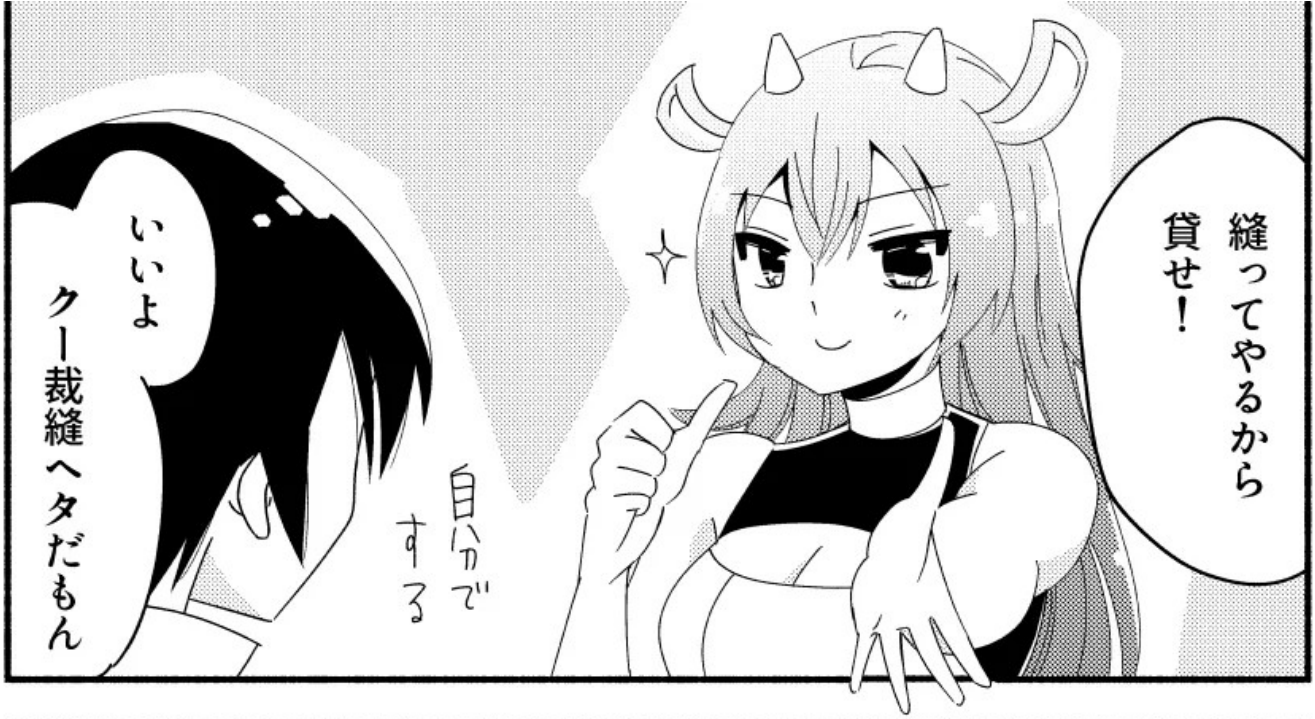
本当の　お母さんだけ

シオネ！
ギム
ルトル
またペンダント見てたのか？
ちょっとね
シオネのお母さんが残してくれたんだよね
うん…
二人は思わない？本当のお母さんがどんな人だったのかって
俺は…
あんまり
僕　ムーが大好きだもん
ムー
俺もメルーがいるからなあ
メルー
シオネだってクーと仲良しじゃない
まあね
それでも気になってしまうのは
このペンダントのせいだ
早く遊びにいこうよ！
うん

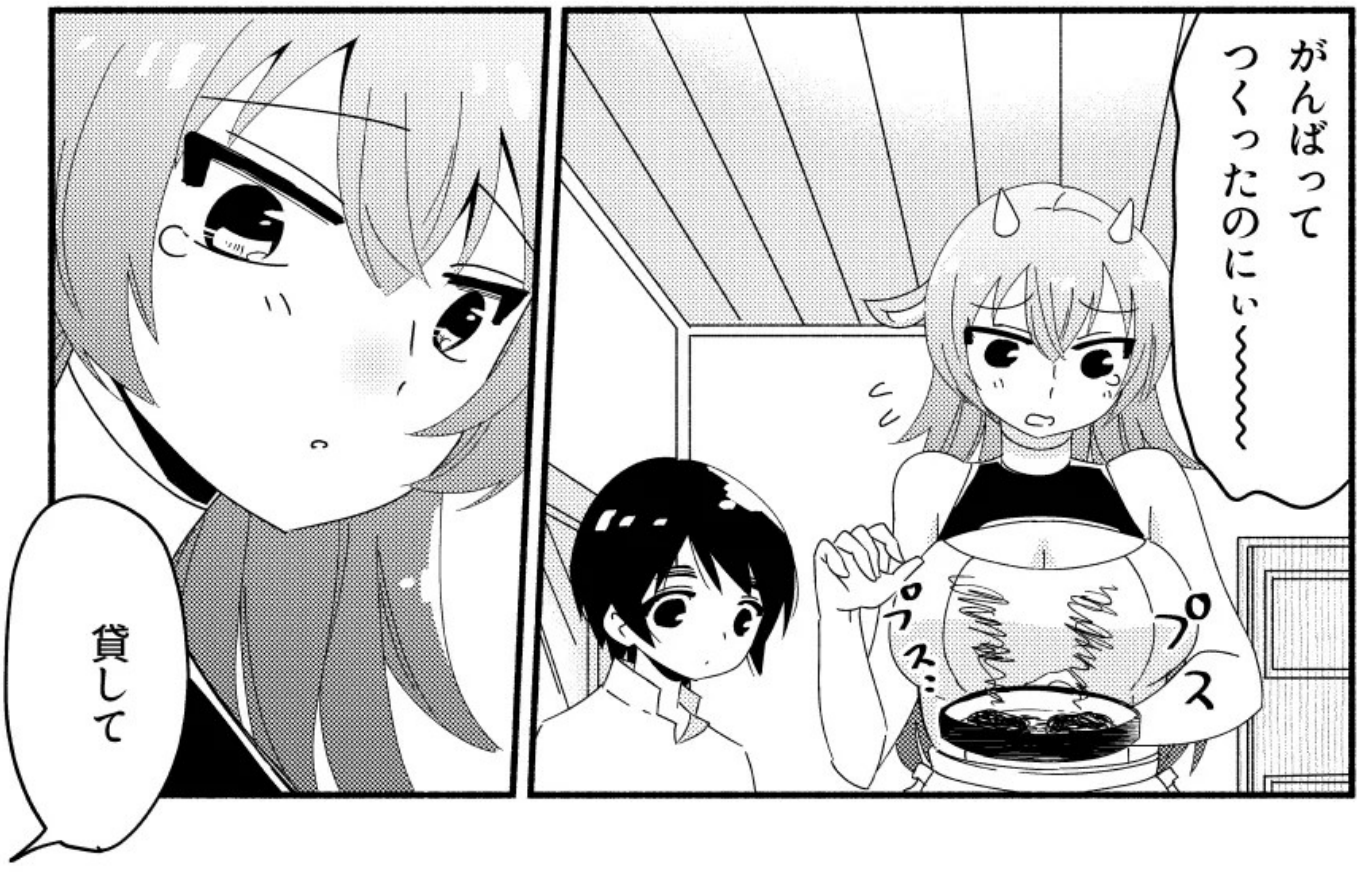
ただいま
おかえりっ

今日はなにして遊んだんだ？
森で木登りとか
キタノ森じゃないよナ!?
ソコノ森だよ
キタノ森はクマが出るから危ないんだろ

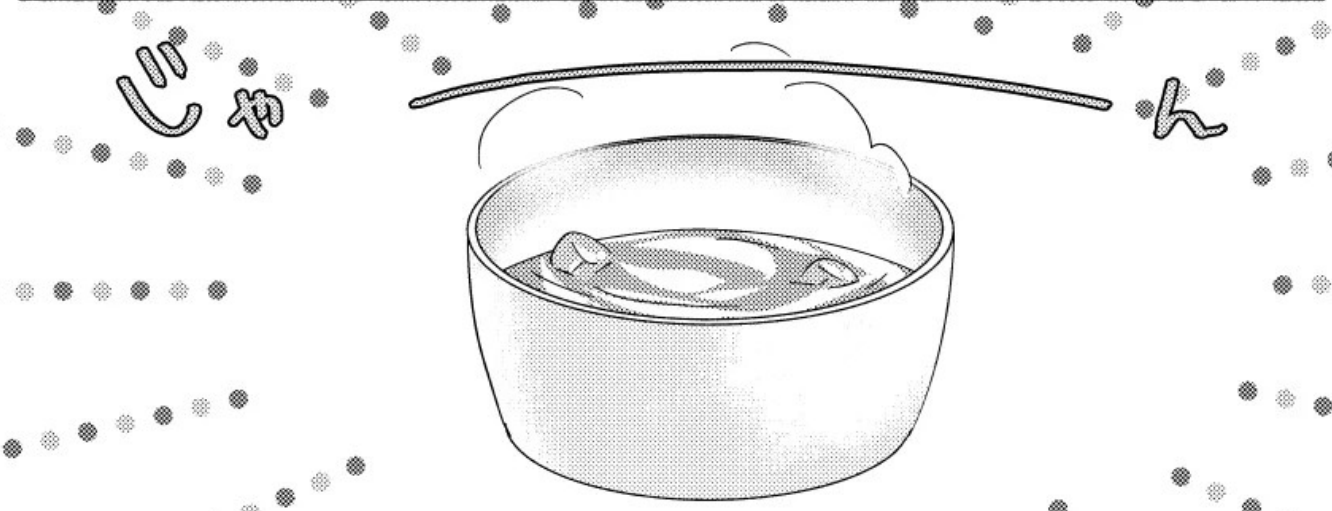
そーか
あ
どした？
裾がほつれちゃったみたい


縫ってやるから
貸せ！
自分で
する
いいよ
クー裁縫ヘタだもん

ちょっとは
上達したゾ!!
ん…
なんか焦げ臭くない？
!!
ばっ
忘れてた――――――
!!
プス
プス


がんばって
つくったのにぃ～～～
プス
プス
貸して

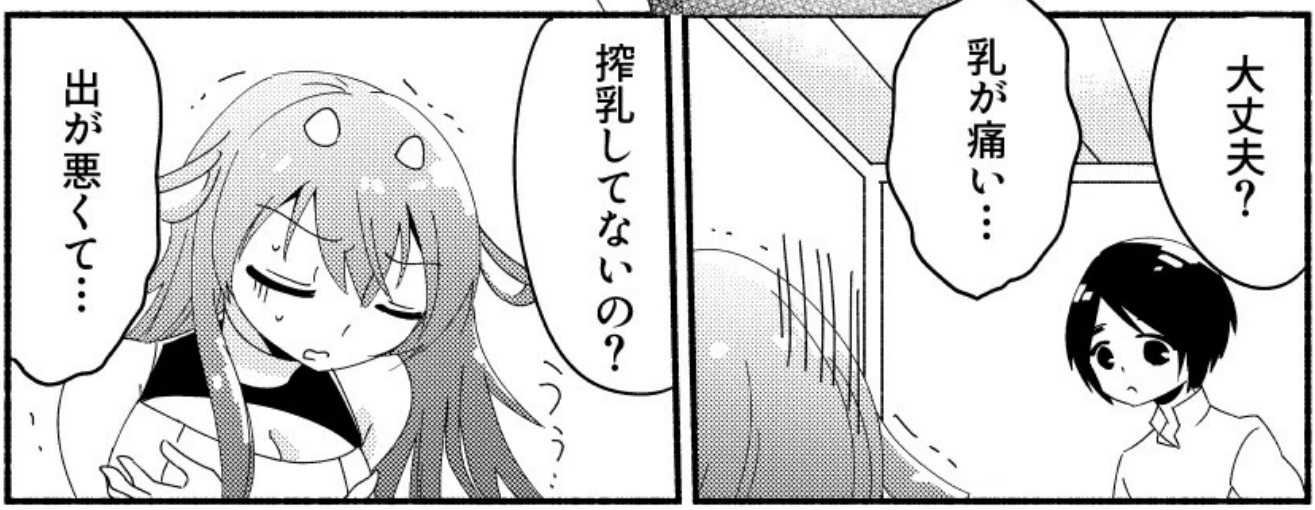
焦げてるだけだから
削いじゃえばいいよ
細かく切って
スープにしよう
そーか！


じゃーん

ウマイ！

お母さんって　どんな感じなんだろう

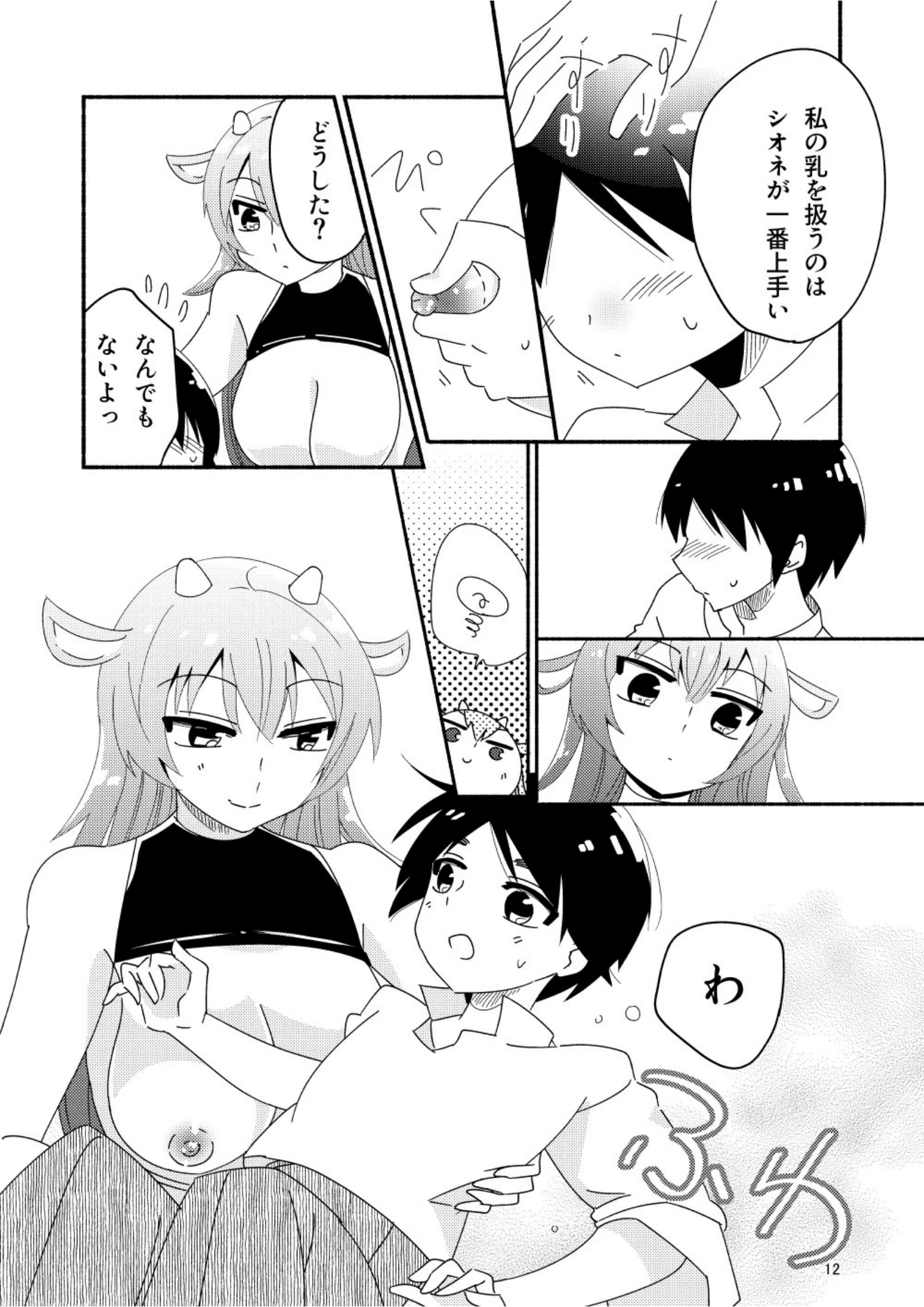
シオ…
ズキー
っ…


大丈夫？
乳が痛い…
搾乳してないの？
出が悪くて…

僕
しようか？

んっ…

あっ
ぴゅっ
さすが上手だな
痛くない？
ナデナデ
平気だ


私の乳を扱うのはシオネが一番上手い
ぷに
どうした？
なんでもないよっ
ぷに
わ
ふわ

ちょっと
クー……
すとん
ほ――ら
吸っていいぜ
クー……
僕はもう
赤ちゃんじゃ
ないんだから
いーじゃんかよォ
たまにはサ
逃げるなバッ
私からしてみれば
今だって十分
カワイイ坊やだぜ？
むぎゅ
13

カワイイ坊やだったら
こんな気持ちになってない
どーだ
ひさびさの
おっぱいは
うまいだろ
いって
噛むなって
ちゅう
ちゅぱ
ちゅぱ

あ
そっちいじったら出ちゃうだろ
っ…
ぴゅっ
ほらぁ……
どっちも飲むよ
ちゅうぅぅー
ちゅぱ
ちゅぱ

すりすり

もう
もうおしまい
へ

あ
もじ
だめだ

もうちょっと飲んでけヨ！
あとは自分でやって！
ぶー

クーが本当のお母さんだったら
こんな気持ちになってないのか？
今日はどこに行く？
図書館はどう？
天気いいし外で遊ぼうよ
あっキタノ森は？
木の実拾うのか？いいな
キタノ森はだめだよ
なんで？

獰猛なクマが出るから
行っちゃだめって
クーに言われてる

それって
ずいぶん昔のこと
じゃないか？

え？

行くな!!

危ないからな!!

メルーの話だと
一時森の食べ物
食い荒らしてから
住処を移ったって
聞いたぜ

なんだ
それなら
もう大丈夫だよね！

……

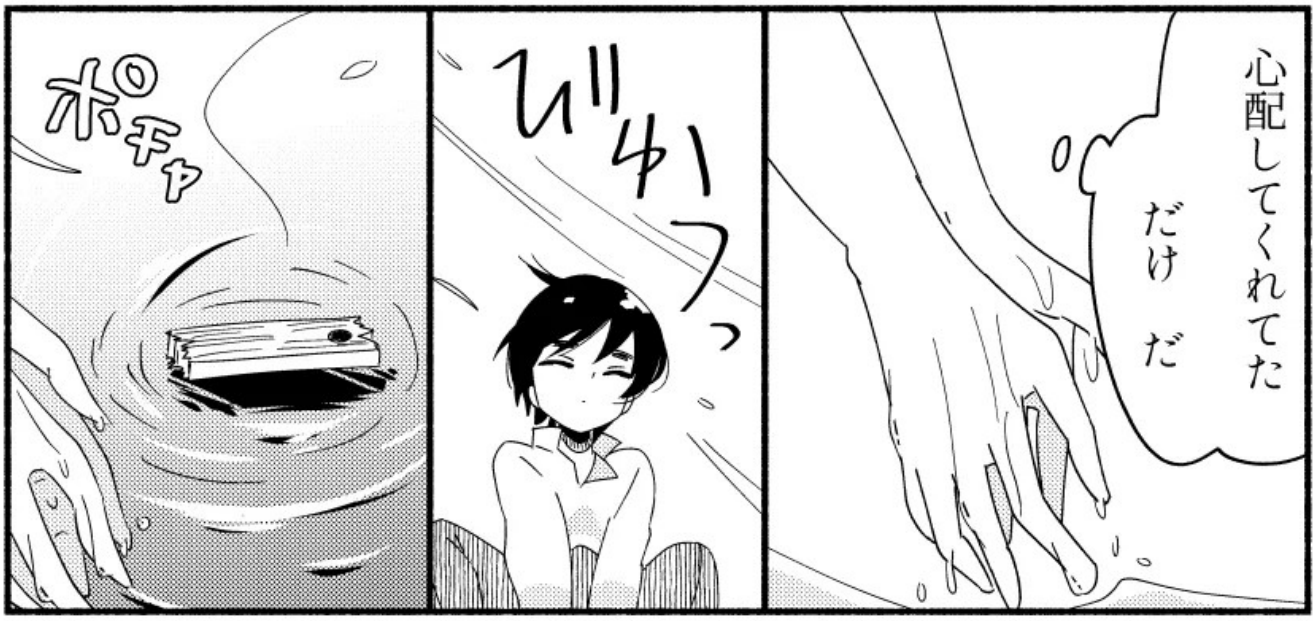
僕にはひとことも
そんな話……

あっ
ムー！

あまり遠くに
行かないのよー

クー……？
たくさん取れたねー
だな
でもこれだけ食べ物があったらまたもどってきちゃうかもね
おいおい怖いコト言うなよ
な？クマいないだろ
うん…
シオネ？
湧き水で手洗ってくる
チロ…チロ…

クーは僕に
嘘をついてた？


心配してくれてた
だけ　だ
ひゅっ
ポチャ

木片？
釘を打った
跡がある
誰か近くに
住んでるのか？

家……
だったモノ
なにが
あったんだろ

シオネー？
おーい
はー
シーオーネー
どこ行ったんだ？
うわっ
ばっ
がさ
な なんかあったのか？
ううんっ
迷子になっちゃったのかと思ったよー
はー
はー
そろそろ帰ろーぜ
ムー喜んでくれるかなあ

ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ガチャ
ピク
おかえりっ
遅かったじゃねーか
ただいま…
バタン
……
メシの前に
手
洗えよナ！

すぅ…
すぅ…
ばっ
今日は
ひとりで寝るからっ
え
オイ
シオネっ

あの場所に
お母さんは住んでたんだ

だから

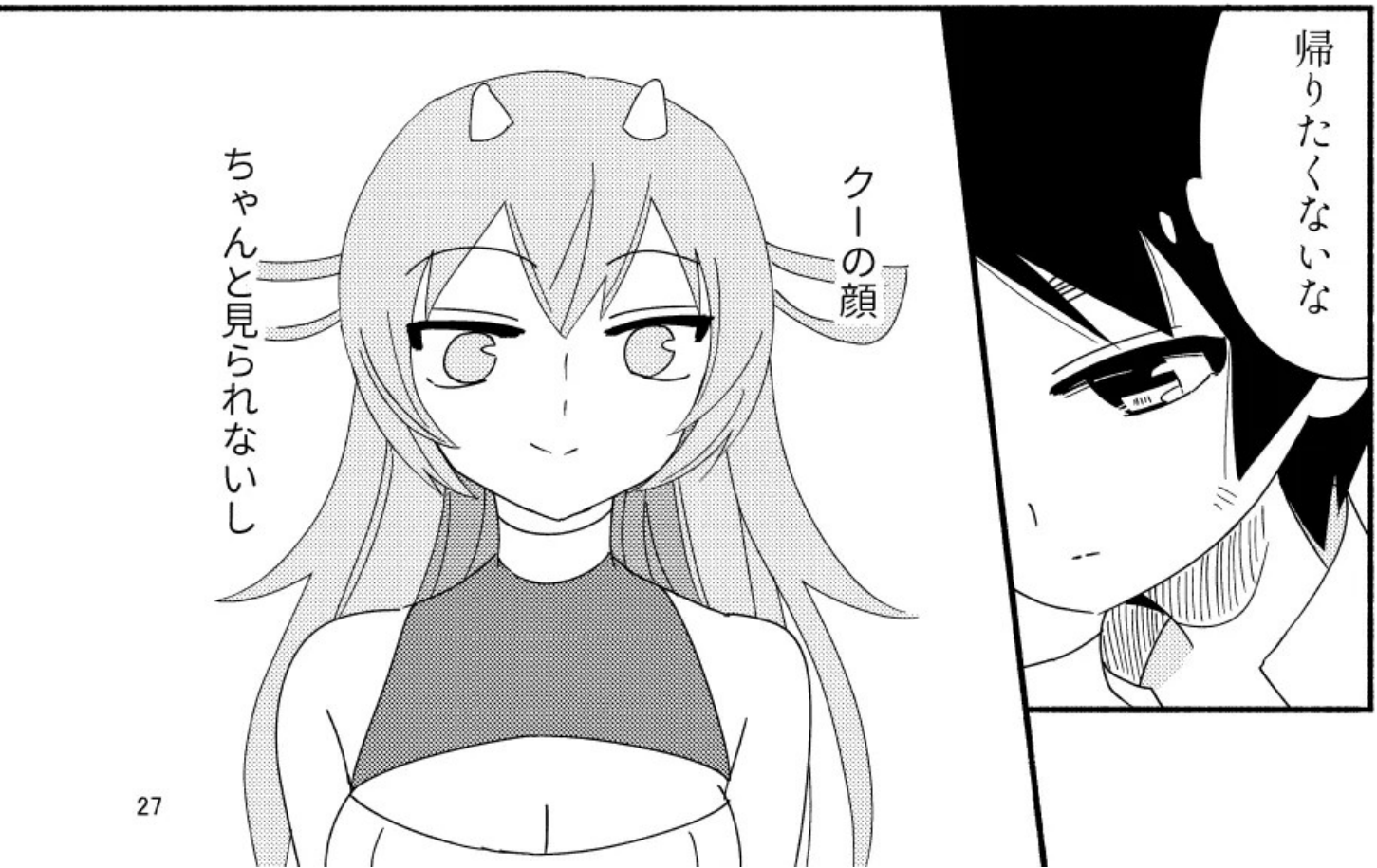
だから
クーは……

僕に嘘をついた

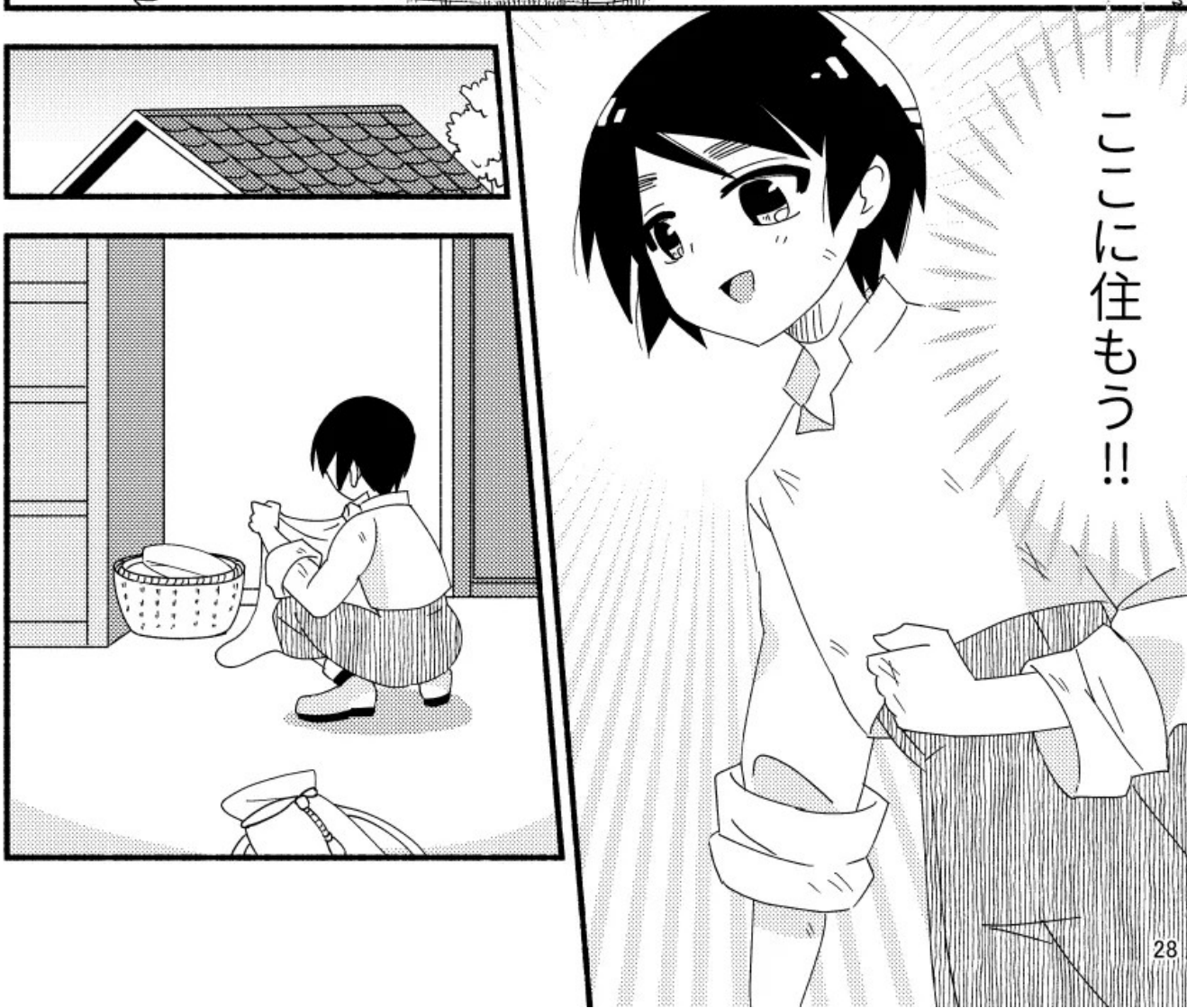
その夜は
どんな夢を見たのか
覚えていない

ここにはもう
なにもないのか？
いや
まだ諦めちゃ
だめだ

こんなに汚して帰ったら
クーになにしてたか
聞かれるな


帰りたくないな
クーの顔
ちゃんと見られないし

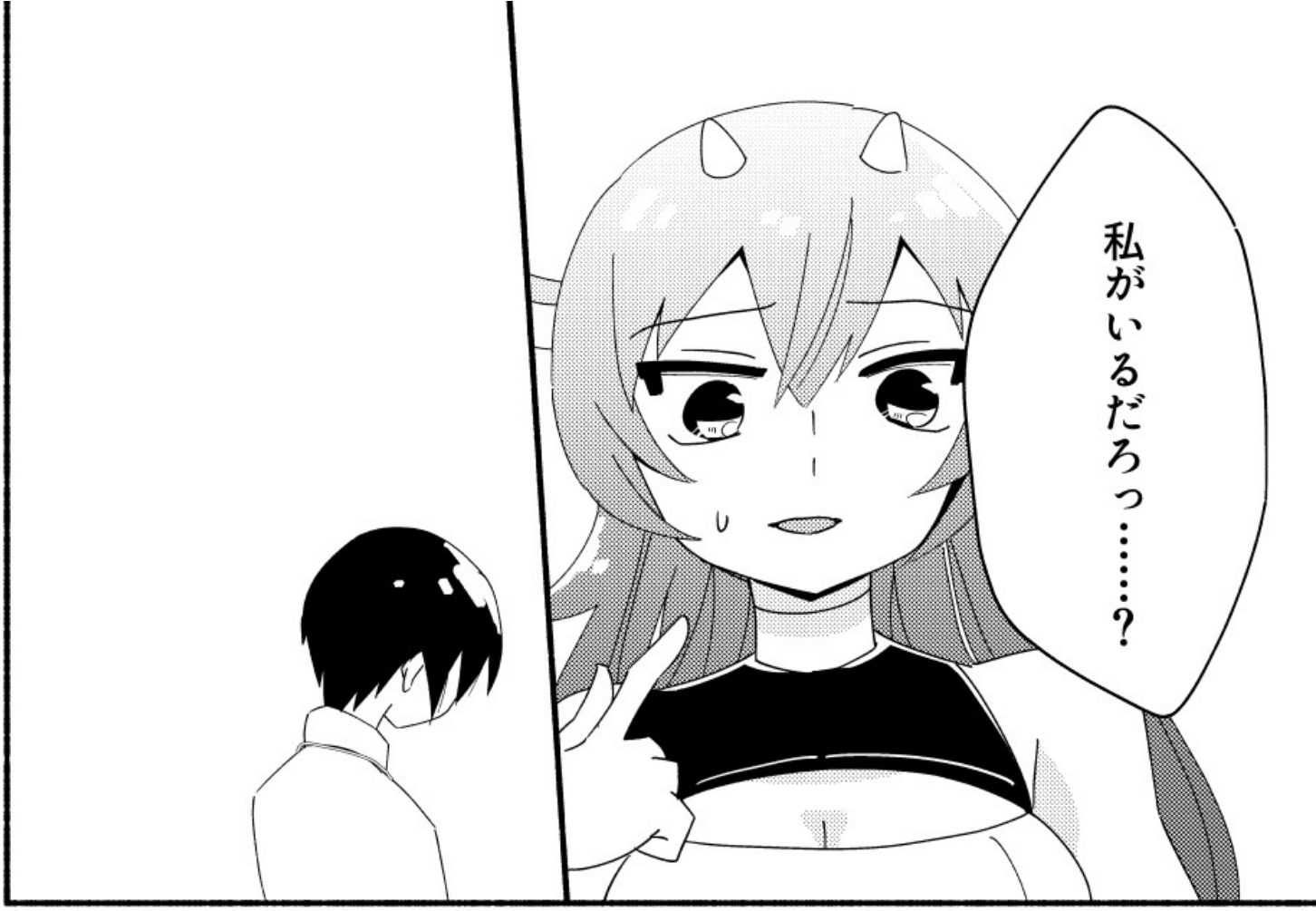
ここに住んじゃおうかな
テントを張れば
雨除けになるし
近くに
湧き水もある
食べ物も
豊富にある


ここに住もう!!

コソコソ
家はいってくのが
見えたと思えば
なにやってんダァ？
ひんっ!?
離してっ
服こんなに汚して
脱げ
自分でするからっ
ほっといてよ

シオネ
私になんか
隠してねーか？
隠してるのは
クーのほうだろ

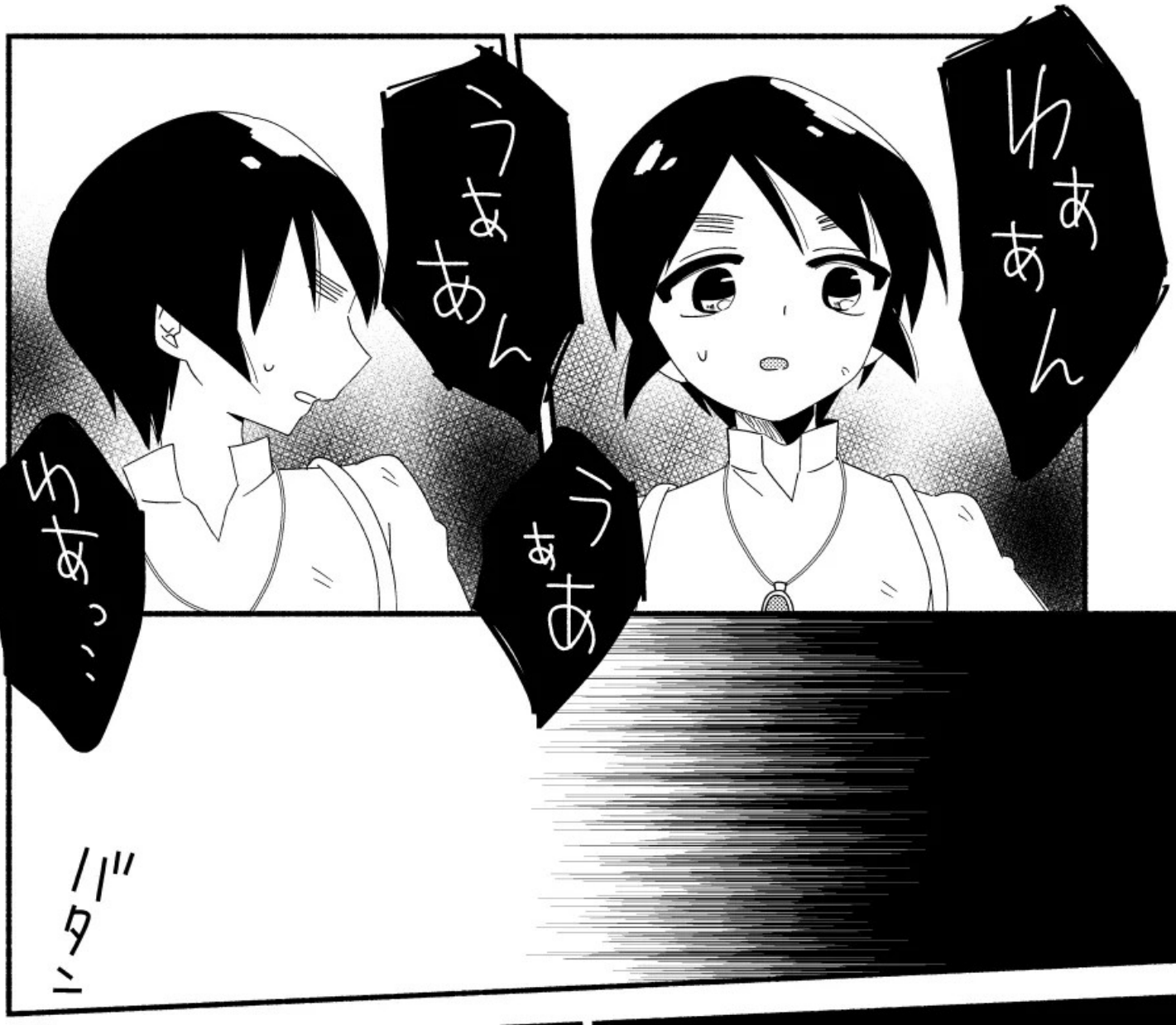
キタノ森で
このペンダントと同じ
紋章を見つけた
！
あそこには
行くなって言ったダロっ
どうして？
僕のお母さんが
住んでいたから？
っ……
どうして今まで
本当のことを
教えてくれなかったの
……
クー
……
やっぱり
教えてくれないんだ
わ
私がっ


私がいるだろっ……？

本当のお母さんがいい

服
これくらいで
足りるかな…

バッカヤローッ
オマエなんか
オマエなんかっ…
どこへでも行っちまえっ……


わぁん
うぁあん
うぁあ
ぁっ、ぁあっ
バタン

はぁ、
はぁ
はぁっ。

パキ
はぁ
はぁ
クーが泣くとこ
はじめて見た
ドキ
ドキ
ドキ
大丈夫…かな
いやいや

本当のことを
教えてくれない
クーが悪いんだから
お母さんの手掛かりが
見つかるまで
ここで暮らすんだ
いつまで？
……

明日には
見つかるだろう

クー
寒い…
……

はー
はー
ガタッ
ガコッ

もぐもぐ

ギムルトル…

シオネっ
！

ムーに聞いたんだ
シオネがここに
いるって
……

大事なものが
ここにあるんだろ？
うん…

俺たちも
探すの手伝うよ
1人より3人のほうが
早く見つかるでしょ？
ありがとうっ…！

いっせーのーでっ
ガタンッ
フー　疲れたあ
そろそろ
ご飯にするか
ご飯！
わーいっ

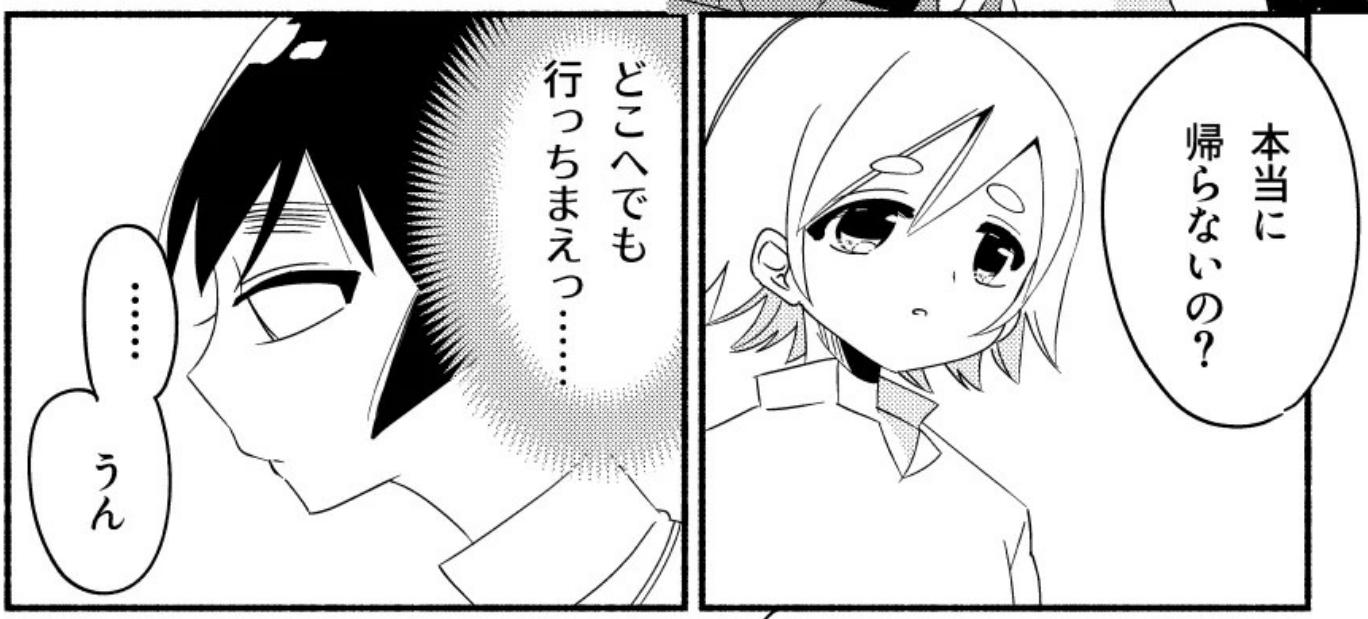
シオネの分も
あるぞ
はい
ありがとう
いただきまーす

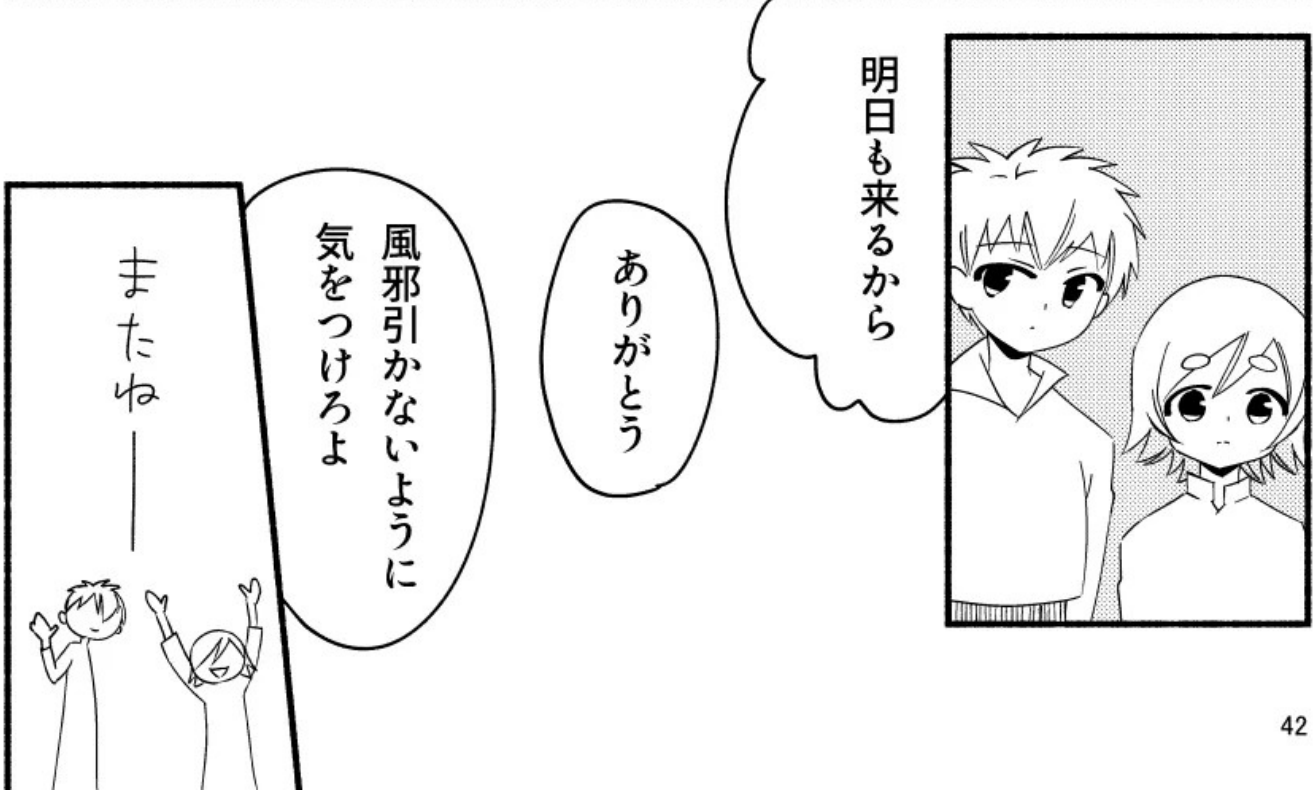
クルミパン
はぐ
クーの味がする
クー……

じー
はっ
クー
どうしてる？
うーん…
しょんぼりしてた
……そう
クーとケンカ
したのか？
ん……
うん
それってクーが
悪いの？

わからない

日が暮れてきたな
ホントだ
ギム　ルトル
ありがとう
あとは
1人で探すよ
シオネ…


本当に
帰らないの？
どこへでも
行っちまえっ……
……
うん


明日も来るから
ありがとう
風邪引かないように
気をつけろよ
またね――

もうすこし
探そう

はあ
はあ

なにも
見つからない
はあ
はあ

お母さん

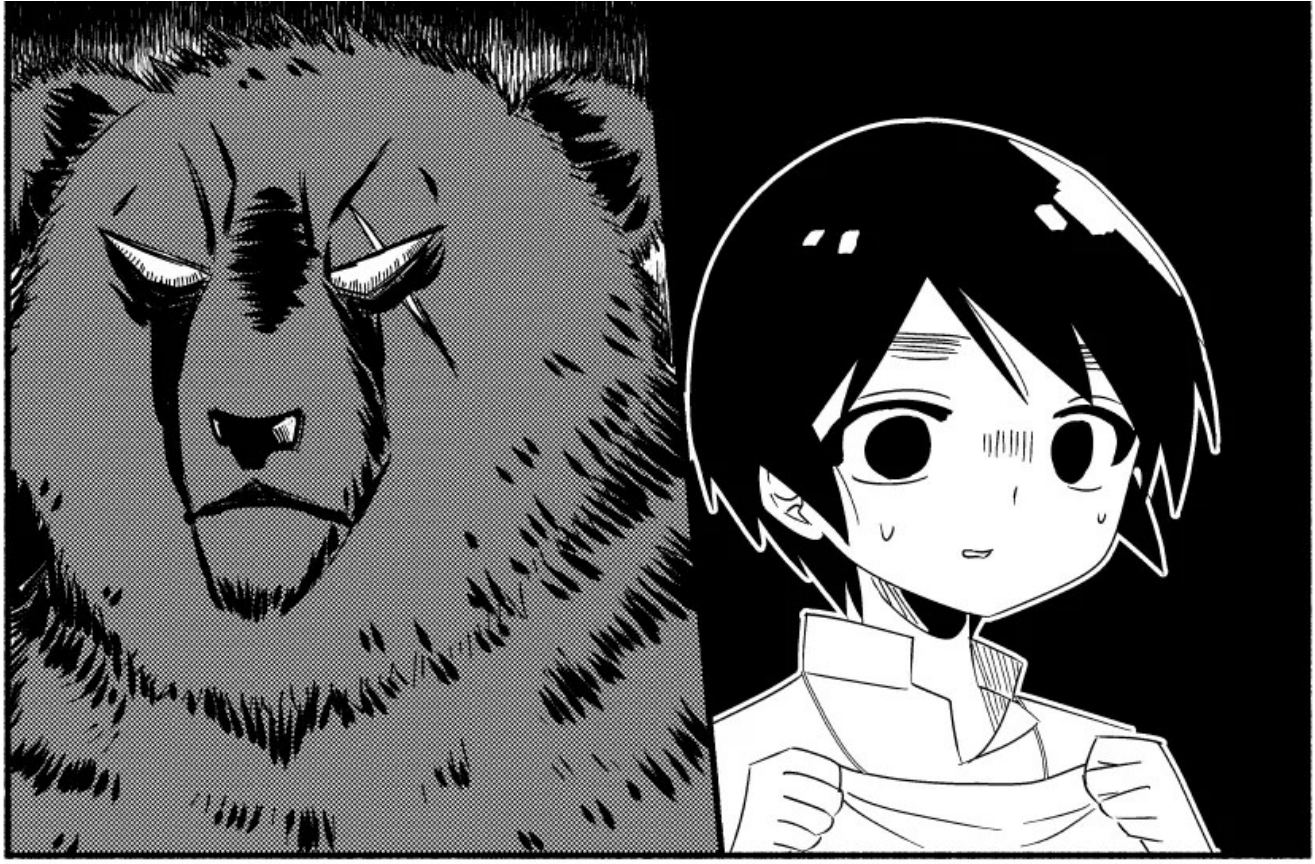
しゃっ
もう1枚
なにか着よ…

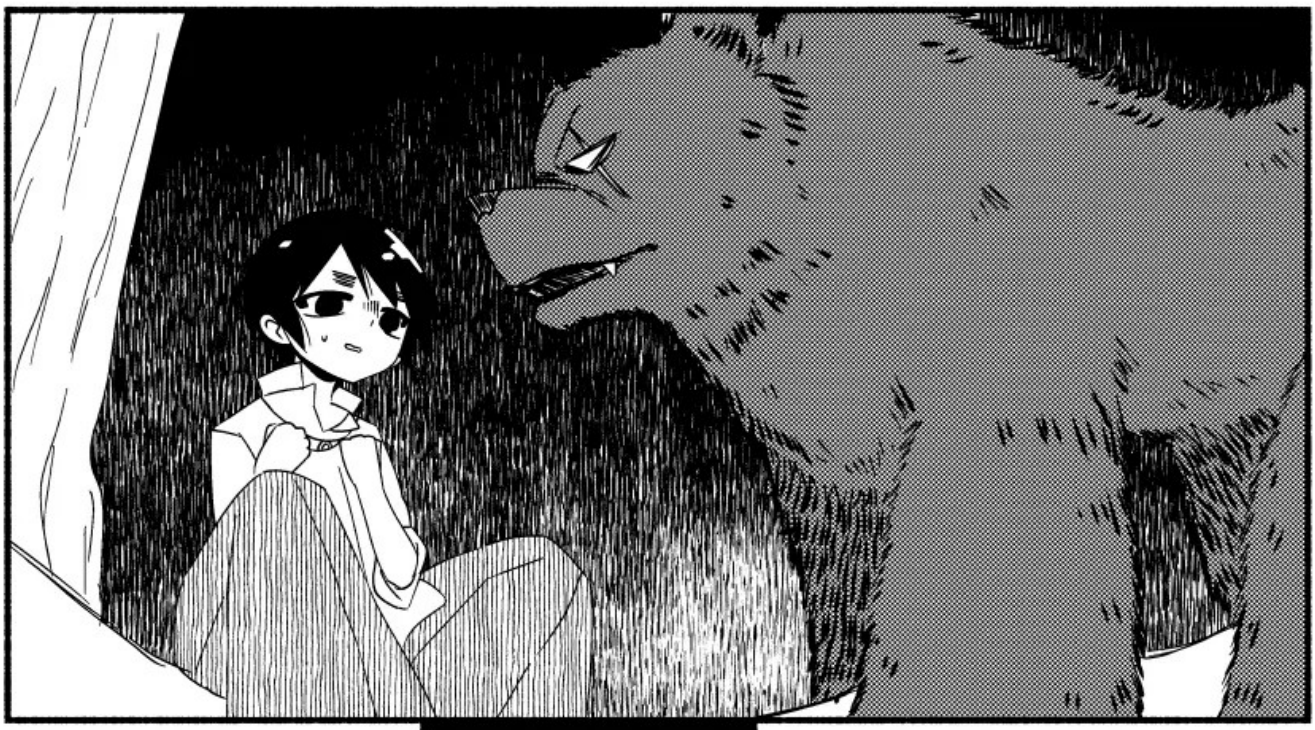
ごごご

クーの服
まちがえて
いれちゃったのか…

クー……!!

カサ
っ…
動物……？
……
クー……？

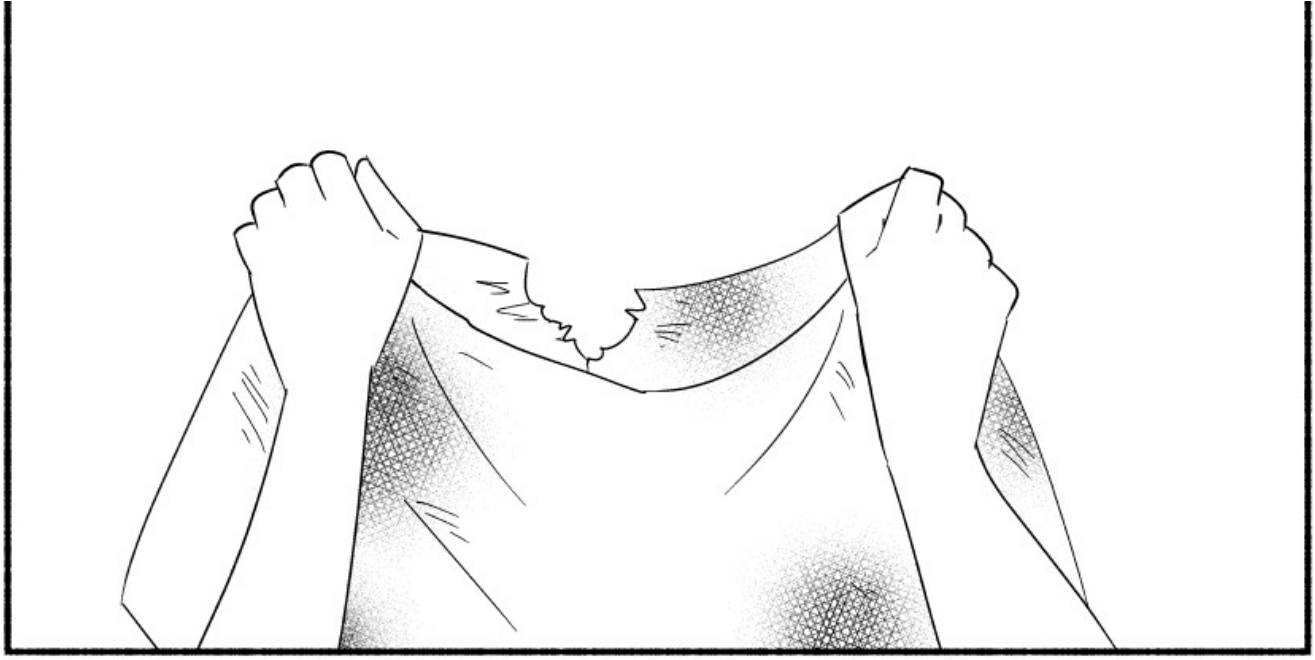




だ
め…
あ
だ
ナデナデ
フワフワ

くぅん

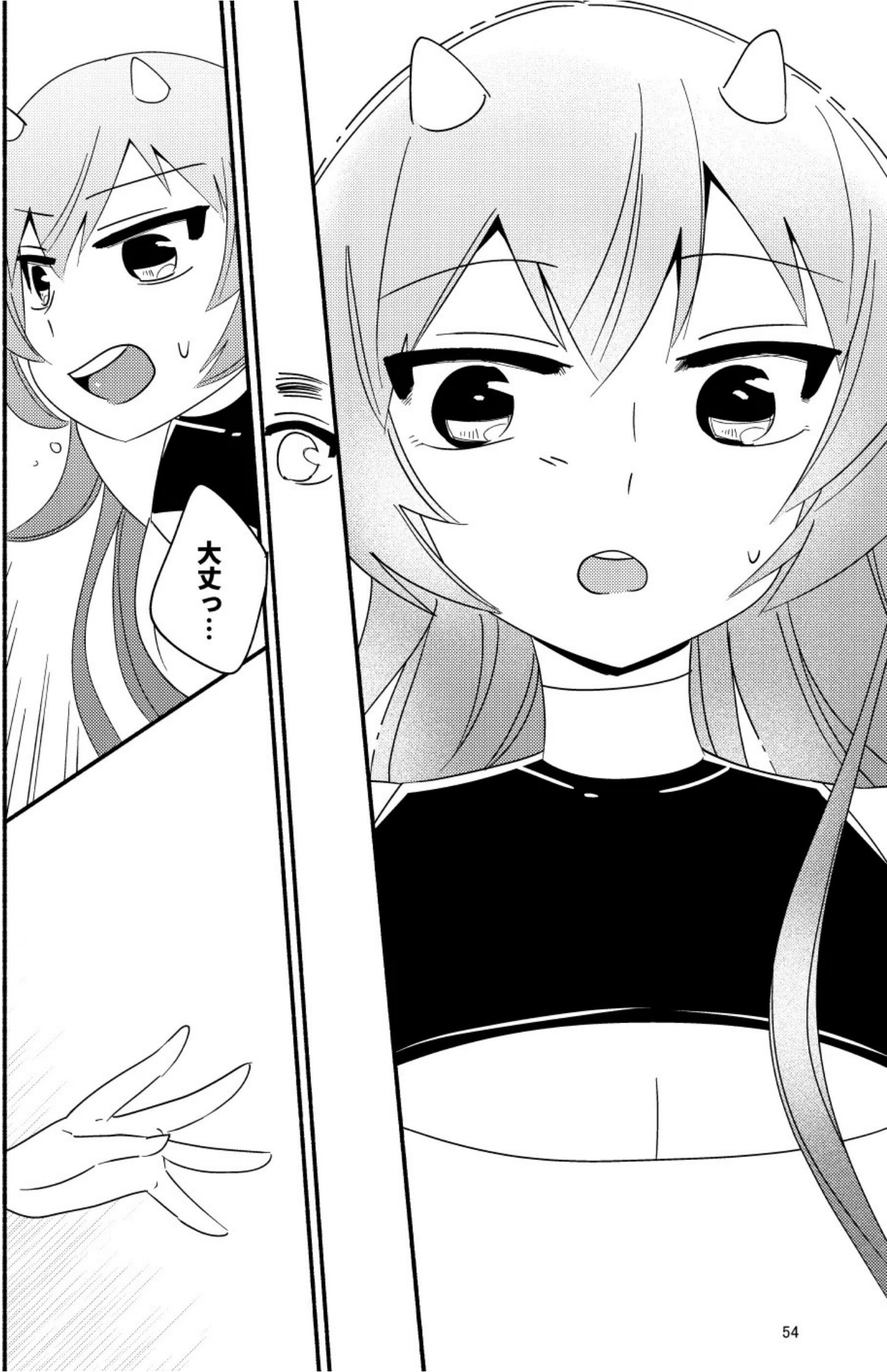
なあ…
なあ…
なあ…
なあ…
なあ…
なあ…
なあ…
なあ…



わあああああん
クー
うあああああん
クー…

ハッ
ハッ

ドサ…
はあ、
はあ、


大丈っ…

ごめん
ごめんなさい
クー
ごめん
なさい
ひどいこと
いって
ごめん
なさっ…
謝るのは
私のほうだ
私が弱いから
シオネを危険な目に
遭わせた

クーは悪くないよ…
ちがう
ちがうんだ…
…ペンダント
あのペンダントは
私の母の
モノなんだ

私の母は
私がまだガキのころ
病気で死んじまった
その母がいつもつけてた
ペンダントが――
私の心の支えだった

それから何年か経って
森でまだ
産まれたばかりの
シオネと出会って…
一緒に生活して
オマエが成長して
いくのがうれしくて
でも…
怖くなった
私はシオネにとって
イイ母親なのか？
私が母親で
イヤになったり
しないかって…考えたとき
シオネがいつか
私に愛想尽かしても
本当の母親っていう
存在があれば
それがシオネを
支えてくれるんじゃ
ないかって思ったんだ
だから——
シオネ
このペンダントは
オマエの母ちゃんが
オマエのために
残してくれたモノだ

…ごめん　クー
ペンダント

投げちゃった

クマの気を引こうと
思って……

がばっ
いいんだもう
シオネが必要ないんなら

服ボロボロにしちゃってごめん
ぜんぶ許す
こうしてはじめての家出は

あっという間に終わった

シオネ

誕生日
おめでとー!!

ありがとう
みんな

これでシオネもルトルも
俺より兄ちゃんかあ

あ そっか

ってコトは…

？

シオネも大人に
なるんだね……!!

オイオイ
ルトルが大人かあ？

大人だもん

大人か
それに
今回のことがあって
僕は成長したと思う
これまで以上にずっと
クーを近くに
感じるようになった

クー
そろそろ寝ようよ

だから離して…
ひしっ
ダメ
誕生日って大事な日を
あの2人と
一日遊んだんだから
夜は私の番ダロ
子供みたいなこと
言うんだから
こんな母親は
イヤか？
いやじゃないよ
クーのこと
大好きだ
私も
シオネが
大好きだ

だから今日は
私の全身で
オマエを
愛おしむ

ムニュ
クー…

ん
ぽいぃ
クー!?
ク
ぽいぃっ

ちゅ
ピク
そろ
ピク
ちゅ
くすぐったいよ
クー
ちゅぱ
ちゅぱ
シオネのマネだ
乳は出ないな
当たり前だろっ
ペタペタ
はっ
ん?
さっ

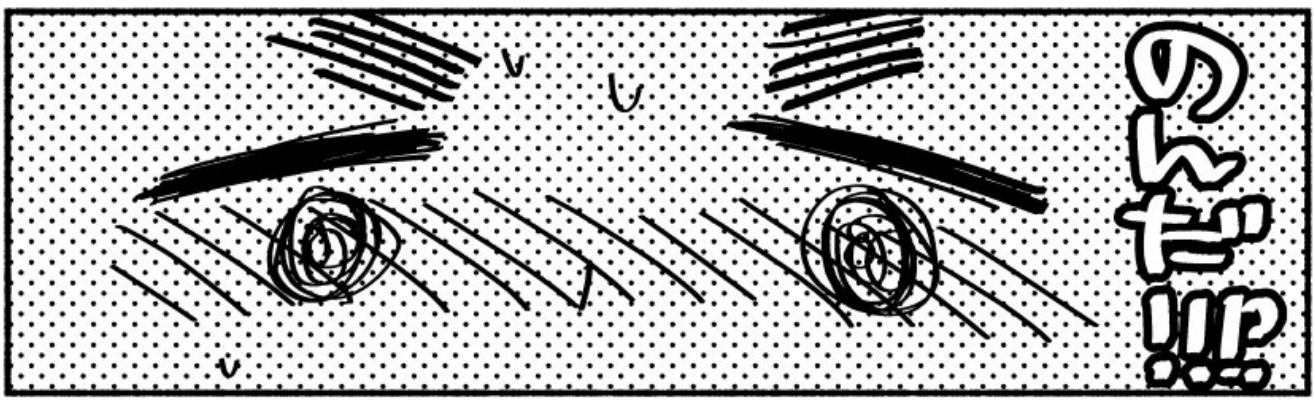
今さら隠すモンでもないダロ
いつもとちがうからだめ
見せろ
やだ
見せろってだめ
ゆき
だったら
こちょこちょこちょ〜
ぐりぐりっ
ゃはははっ
やはははやめてー
ゃはははっ
しんじゃうぅ
ぴた

は
ラブ
は
どこも
おかしくねーぞ？
シオネが私に
ドキドキしてるから
こうなるんだ
……
私はうれしい

ちゅっ
ぺろ
汚いよクー
ちゅっ
っ…
ン
ン
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぷ
ン…
ン
ちゅぷ
ふ…
ぴく
ぴく
んっ

クー だめ 離して おしっこ でそう
出していいぞ
なっ
クー
ぴくっ
ぴくっ
だめ
ほんとに おしっこで ちゃ
ぴくっ
あ
ちゅぽっ
ちゅぽっ

ヒクヒク
ヒクヒク
あぁ
あぁ
っ!!
ぺちゃ
ぴく
ぴく
ンンン


のんだ!!?

変な味だナ
飲むからだろっ
おしっこ飲むなんて信じらんない!!
おしっこじゃないぞ
精子だ
赤ちゃんの元
赤ちゃんの元…
シオネの大切な人のここに注ぐと赤ちゃんができる
……
飲んで大丈夫なの?
シオネも私のおっぱい飲むダロ
それは関係ない

でも
そっか
クーと僕の
赤ちゃん…
私？
だって大切な人だろ？
僕の大切な人は
クーだよ

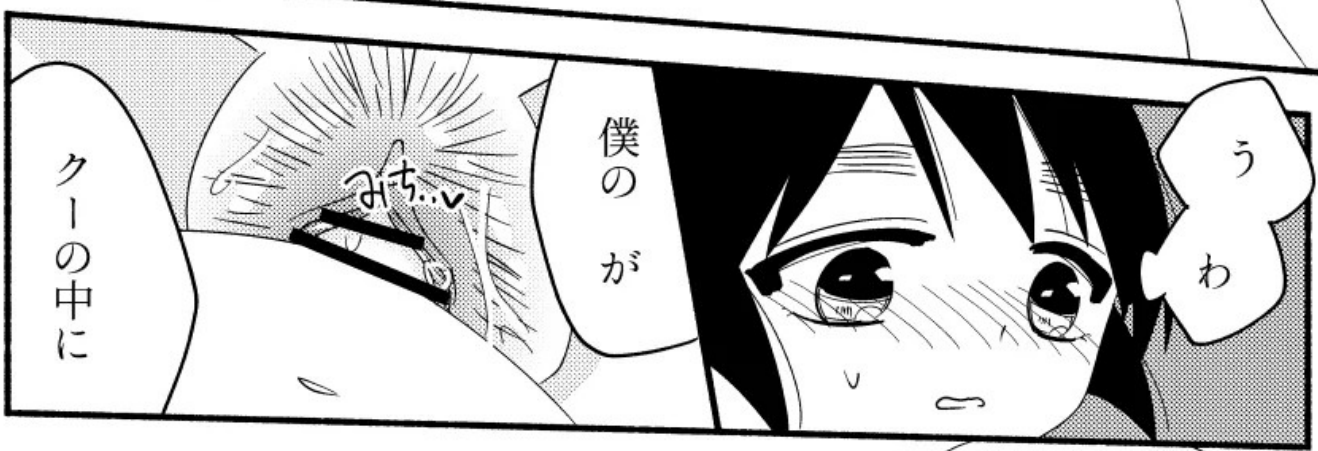
ハアアア
ま

魔々は
スゲー受精しづらいんだぞ
何年かかるか
わかんねーぞ!!
がんばるよ
〜〜っ
むぎゃ!!

あり
がと

せーし
また出せるかな
ぷは
まかせロ
ふにゃん
ナデ
ナデ
むに
ちゅぱ
ちゅぱ
シオネは
おっぱい飲んでるときに
頭撫でられると
すぐおっきく
なるんだから
バレてる…!!
ほら
かたくなってきた
ふん
ンっ

んっ
すりすり
んっ…
くちゅ
ぴち
じゃあ次は
あぁ
だめ
またでるっ…
ン…
ぷぷ…
私に出して
トロ…
ぬぷ
ぷぷ


うわ
僕のが
みちぃ
クーの中に

クー?
ぎくっ
なんでもないっ

プルプル…
プルプル…

動くからなっ…
はー
はー
たぷん
ぬちっ
ぬちっ
ぬちっ
なんだこれ
すごく
気持ちいい
ぎゅっ
ぎゅっ
ゆさっ
ゆさっ
クー
苦しいの？
……

気持ちいいの！
は——
は——
ビビビ
僕も
すっごく
気持ちいい……！

シオネ……っ
ン
ンっ
じゅぷっ
じゅぷっ
キュン
ハン
あ
あん
あっ
ハン
ハン
ク…
で
るっ…
出して
は
いいぞっ…
シオネの精子
いっぱいっ…
出して…！
は
ぴゅっ
ぴゅっ
81

はぁ
はぁ
はぁ
交尾って
気持ちいいんだナ…

ギュッ
ひょっとして
はじめてだったの？
悪いかよッ
悪くないよ
これでクーも
大人だね
きらきらと光る
暖かい場所

おしまぃ

時系列

昔

・クーの父と母、キタノ森にて結ばれる

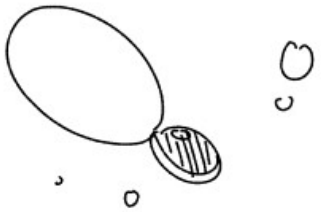
・クーの父　家紋をつくる

・家に悪漢が押し入る
クーの父、身重の母をどうにか逃がすも
命を落とす

・クーの母、住居を魔々の村に移りクーを出産

・クー、母から父の話を聞き
キタノ森へ向かうも、そこは
いつしかクマたちの住処に…

・クーの母、病死
クー、亡き母のネックレスを
拠りどころに生きていく



・クー、森で赤ん坊のシオネを拾う

・母としての自分に不安を持つクー
亡き母のペンダントを偽り、シオネに譲り渡す

・シオネ、ペンダントの存在から
本当の母親に思いを馳せる…

・シオネ、クーからペンダントの経緯を聞き
ぶん投げてしまったことを後悔
探しにいくことを決意する

今

魔々のあれこれ

乳を売って生計を立てている

排卵が数年に一度しかない
(妊娠しづらいのはこのため)

赤ん坊は性別がメスの場合
魔々として産まれる
(ごく稀に魔々として産まれる
オスもいる)

乳房が発達して
乳が出るようになると一人前

あとがき

お茶の子サイダーです!!

おねショタに萌えていたら
ママショタもいけるようになった今作です。

Hシーンがあんな感じになったのは ←ドラマ
ネームを描いてるときに「鈴木先生」を
見たからだと思います。おもしろかったです。

描きながら設定をアレコレ考えたので
同じ世界観でまた描いてみたいなあと
思ったりしています。

それでは。
ここまでおつきあい下さり
ありがとうございました!!!

お茶の子サイダー